

## 日本体育・スポーツ経営学会第 49 回大会で基調講演を行い、シンポジウムにも登壇しました (2026/3/14)

テーマ：災害科学、地球人間圏科学、人口減少社会、人類、自然共生システム、まちづくり

会 場：東北学院大学土樋キャンパス ホーイ記念館 ホール

URL：<https://jsmpes.jp/academic-meeting/academic-meeting-list/20170335.html>

2026 年 3 月 14 日（土）～15 日（日）、東北学院大学土樋キャンパス・五橋キャンパスにおいて、日本体育・スポーツ経営学会の第 49 回大会が「変容する社会と地域スポーツの未来」を主題として開催されました。

初日は、土樋キャンパス・ホーイ記念館ホールを会場に、学会長の開会挨拶に続いて当研究所の原裕太助教（2030 国際防災アジェンダ推進オフィス）が基調講演を行いました。基調講演では、「地球人間圏科学・災害科学からみた地球環境と地域」と題し、災害、気候変動、生態系劣化、文化多様性などを例に、体育・スポーツ経営学とは異なる時間軸・空間軸を用いて見た場合の日常生活や文化活動を行う「場」の理解、社会制度と土地利用をめぐるイシュー間や思想間の対立と融和、学際研究の意義と難しさなどについて、地理学、地球環境史、地域研究をベースに、人文・社会科学と自然科学双方の知見を踏まえた話題提供を行いました。

その後は、休憩を挟んでシンポジウム「(地方都市における) 人口減少と体育・スポーツ経営学」が開かれ、財政学、社会学、スポーツ経営学の研究者らとともに、原助教もパネリストの一人として登壇しました。当シンポジウムでは、フロアも交えて、人口減少社会の意味、人口減少下の地域社会とスポーツおよび学校体育、人のウェルビーイングなどについて、議論を深めました。



基調講演の様子



シンポジウムの様子

文責：原 裕太助教（2030 国際防災アジェンダ推進オフィス）